

2024年サプライチェーン・エグゼクティブ・サーベイ ～SCM担当幹部の調査レポート～

継続的な課題に直面しながらも
企業は AI や持続可能性を含むテクノロジーに
投資しています

サプライチェーンの混乱が依然として最大の懸念

42%

納品遅れがあると回答

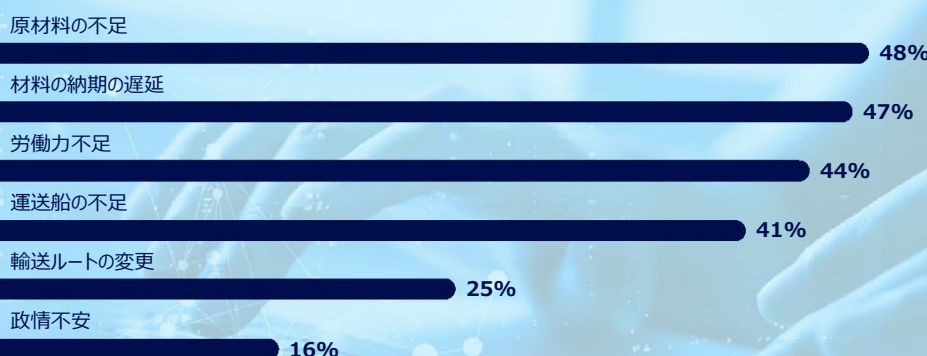
42%

生産が停止したと回答

39%

法規制に関する問題に
直面

混乱の原因



コストは依然として上昇中

世界の企業が回答した前年比の利益率の変化：

46%

利益率が低下

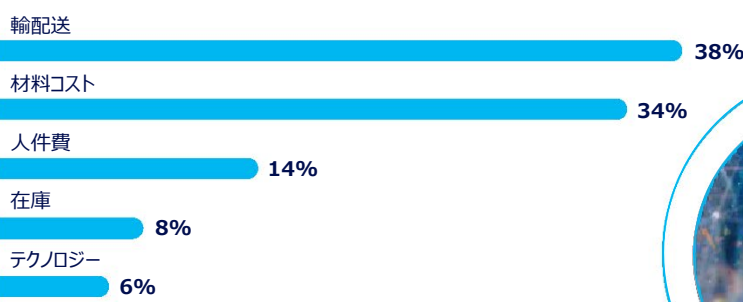
35%

利益率が増加

20%

変化なし

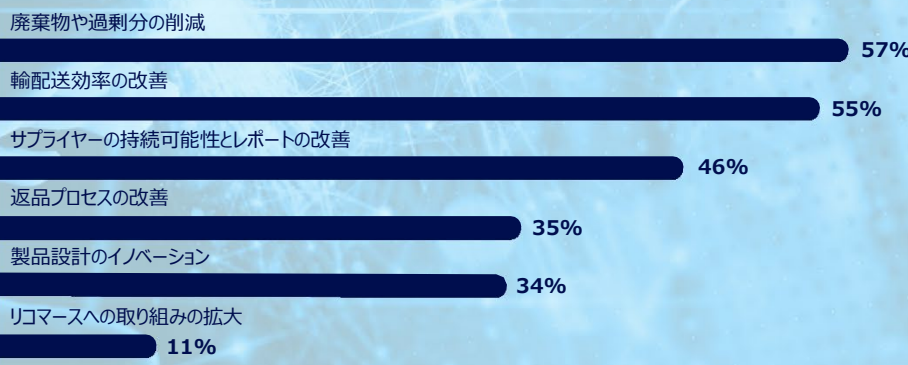
コストの上昇によって最も影響を受けた分野：



全世界で持続可能性への取り組みが拡大中

昨年、世界の企業の**44%**が持続可能性への取り組みを強化

世界の企業が持続可能性を最大限に高めるために予定している手段：

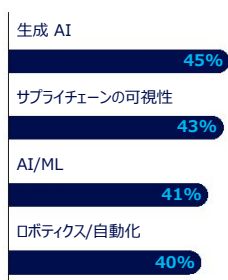


主要な投資分野

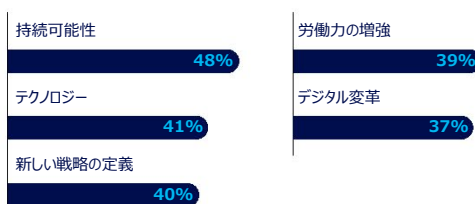
世界の企業の**79%**がサプライチェーンへの投資を拡大

世界の企業の**51%**がサプライチェーンに1,000万ドル超を投資

最も人気の高いテクノロジー：



世界で上位の投資分野：



AI とサプライチェーン

世界の企業の**80%**がサプライチェーンにおける生成 AI の試験運用/導入を実施済み

生成 AI を使用した世界の企業の**91%**が、
サプライチェーンプロセスと意思決定の最適化に生成 AI が有効であると回答

生成 AI によって KPI が向上した分野：



Blue Yonder は、どのような課題に直面しようとオペレーションを決して止めないソリューションを開発することにより、お客様がサプライチェーンの混乱をうまく乗り切ることができるように支援することに取り組んでいます。インテリジェントなサプライチェーンが脅威の管理にどう役立つのかについては、[こちら](#)をクリックしてください。

Blue Yonder の2024年サプライチェーン担当幹部調査は、2024年3月1～15日にサードパーティロバイダによって実施されました。製造、小売、サードパーティロジスティクス、政府機関の各部門にわたる600人以上の経営幹部および上級幹部から回答が得られました。回答者は、米国、英国、DACH（ドイツ、オーストリア、スイスを含む）、フランス/ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルクを含む）でサプライチェーン戦略、サプライチェーン計画、ロジスティクス、製造オペレーションを担当しています。